

## 第23回土木構造物検討会 議事録

1. 開催日時 : 平成28年2月18日(木) 14:00~17:10

2. 開催場所 : (一社)日本電気協会 4階 D会議室

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

出席委員: 谷主査(東京海洋大学), 原口幹事(関西電力), 衣笠(東京工業大学), 鈴木(原子力安全推進協会), 大友(電力中央研究所), 松山(電力中央研究所), 氏家(北海道電力), 加藤(東北電力), 河村(中部電力), 中村(北陸電力), 清水(中国電力), 本郷(九州電力), 若松(電源開発) (計13名)

代理出席: 増田(日本原子力発電・入谷代理), 荻山(四国電力・小川代理) (計2名)

欠席委員: 山崎(首都大学東京), 末広(東京電力) (計2名)

常時参加者: 中村(原子力規制庁), 秦(中部電力), 天野(中部電力) (計3名)

オブザーバ: 内野(中部電力), 香月(九州電力) (計2名)

事務局: 佐久間, 田村, 大村(日本電気協会) (計3名)

### 4. 配付資料

資料 No.23-1 第22回土木構造物検討会議事録(案)

資料 No.23-2 土木構造物検討会 委員名簿

資料 No.23-3 耐震設計分科会 平成28年度活動計画(案)

資料 No.23-4 土木構造物検討会 平成28年度活動計画(案)

資料 No.23-5 川内発電所の火山影響評価について

資料 No.23-6 高浜発電所の地盤(敷地の地質・地質構造)について

資料 No.23-参1 第43回原子力関連学協会規格類協議会 議事録(案)

資料 No.23-参2 日本原子力学会 2015年春の年会 企画セッション 抜粋

### 5. 議事

#### (1) 代理出席者の承認及び会議定足数の確認

事務局から代理出席者2名の紹介を行い, 主査の承認を得た。出席者は代理出席者を含め, 会議開催条件の「委員総数の2/3以上の出席(12名以上)」を満たしていることを確認した。また, 事務局からオブザーバ2名を紹介し, 主査の承認を得た。

#### (2) 前回議事録の確認

事務局から資料 No.23-1に基づき, 第22回土木構造物検討会議事録(案)が紹介され, 一部修正の上, 承認された。

#### (3) 検討会委員の変更について

事務局から資料 No.23-2に基づき, 検討会委員の変更について報告した。なお, 検討会委員の変更は, 3月1日の第64回耐震分科会にて承認後有効となる。

- ・変更：衣笠 善博（東京工業大学） → 佃 榮吉（産業技術総合研究所）  
入谷 剛（日本原子力発電） → 増田 崇治（同左）
- ・退任（常時参加者）：森 俊朗（日本原子力発電）

#### (4) JEAG4601 改定について

事務局から、JEAG4601 改定状況について説明があった。校正版をゲラ刷りに出す準備をしており、今月末又は3月初めに複数部のゲラ刷りを入手する。ゲラ刷りは作業会の幹事他にて確認を行い、発刊は年度内を目標とする。

#### (5) H28 年度活動計画について

原口幹事から、資料 No.23-3 及び 23-4 に基づき H28 年度活動計画の実施状況について説明があった。主な質疑・コメントは以下のとおり。

- ・資料 No.23-3 の P16 の重大事故等対処施設編は、機器・配管系検討会が主と考えるが、土木構造物検討会の関与はどのようなものか。また、検討会の関与について資料 No.23-4 に反映する必要がある。
- 地盤や構造物について、JEAG4601 を引用しているのが当検討会が入っているが、重大事故等対処施設編に、新たに当検討会が書き込んでいないところはない。ただし、資料 No.23-4 には活動計画を反映する。
- ・P15 で、「原子力規制委員会にて技術評価が計画された場合は・・・」との記載があり、規制庁への説明を予定しているとのことであったが、規制庁への説明は、エンドースを働きかけることも含んでいるのか。
- 2008 年版はエンドースされる気配がない。待っているだけではだめだという意見もあり、積極的に働きかけたい。
- ・資料 No.23-4 の 2(3)(4) 原子力学会の調査専門委員会が、平成 28 年 9 月まで活動を予定している。3 月の中間報告及び最終報告を踏まえて、JEAC//JEAG4601 への反映の可否を検討するため、年間スケジュールでは 7 月と 2 月の 2 回検討会を開催することになっているが、最終報告後に検討会を開催する場合もある。
- ・資料 No.23-4 の 2 (1)は次年度大きく動いた方が良いのか。
- 最終的な結論をみて対応すればよい。
- ・資料 No.23-4 の 2(1)で、津波検討会でも、先行審査状況を耐津波設計の参考として検討している。例えば盛土構造が検討課題として抽出されており、土木構造物と連携して考えていく必要がある。
- ・耐津波設計に関する JEAG を作成するのか。
- そのような意見もある。また、事例集を作っても良いのではないかと、という意見もある。

#### (6) 川内発電所の火山影響評価について

香月オブザーバから資料 No.23-5 に基づき、川内発電所の火山影響評価に関する審査の状況について紹介があった。

#### (7) 高浜発電所の敷地内破砕帯の評価について

原口幹事から資料 No.23-6 に基づき、高浜発電所の敷地内破砕帯の評価に関する審査の状況について紹介があった。

## 6. その他

### (1) 津波評価技術に関する3学協会の協力について

事務局から資料 No.23-参1 及び参2 に基づき、津波評価技術について、3学協会の連携に関する紹介があった。主な質疑・コメントは以下のとおり。

- ・メンバーが参加するとのことであるが、検討会の中の方を推薦するということか。

→土木の津波関係の若い方が出た方が良いか考える。

- ・参加者の個人名を挙げる等、この場でアクションを採ることはあるか。

→3月か4月にキックオフで、1~2か月に1度くらいの頻度で行う。松山委員から声をかけていただく。

- ・本検討会の場と情報がシェアされることが重要であるが、松山委員が出席されるのでシェアされる。

### (2) 次回開催

7月を目途に、日程を調整することとなった。

以 上